DEEPSoft

MailSuite ユーザーズマニュアル

(SPAM 設定編)

Version 3.1.1 最終更新日 2011 年 01 月 18 日

ディープソフト株式会社

〒116-0013 東京都売川区西日暮里二丁目 49 番 10 号 Tel 03-5850-4100 Fax 03-5850-4170 http://www.DEEPSoft.co.jp/ Copyright © 2001-2011 DEEPSoft Company

目 次

1. は	じめに	3
2. 正規	規表現式とは?	3
2.1.	正規表現式の設定	3
3. SP	AM遮断設定	5
3.1.	送信者	5
3.2.	メッセージ	7
3.3.	添付ファイル	.11
4. 例	外処理設定	.14
4.1.	送信者	.14
4.2.	メッセージ	.16
5. 環	境設定	.19
5.1.	管理者が設定したメッセージフィルタ使用の選択	.19
5.2.	SPAMメール自動判定フィルタ使用の選択	.19

1.はじめに

このたびは MailSuite をお選び頂きありがとうございます。 本書では MailSuite の SPAM 設定メニューのご利用方法についてご説明いたします。

2. 正規表現式とは?

2.1. 正規表現式の設定

MailSuite では、[SPAM 遮断設定 >> メッセージ] や [SPAM 遮断設定 >> 添付ファイル]と、設定した各フィルタの例外処 理に対して、正規表現を用いて文字列中のパターンを分析して SPAM メールとして処理できるフィルタ設定をサポートしていま す。

※[SPAM 遮蛎設定 >> 送信者] と [例外処理設定 >> 送信者] ではワイルドカードを用いたフィルタ設定をサポートしています。

2.1.1. 正規表現式とは?

ファイル、または文字列内に含まれている特定のパターン(または、特定の条件を満たす文字列)を検索するため、予め定義されている多様な特殊文字(metacharacters)を組み合わせたものを正規表現(regular expression)と言います。

MailSuite は、このような規則を用いてより多様なフィルタ条件設定をサポートしています。 次の例を参考にして、正規表現による SPAM メール遮断ルールの追加設定に使用してください。

2.1.2. MailSuite でサポートしている特殊文字(metacharacters)の一覧と使用例

特殊文字	内容及び使用例
^ (caret)	ラインの先頭、または文字列の先頭を表します。 例 ^広告(文字列の先頭に広告を含む条件を検索)
\$ (dollar)	ラインの末尾、または文字列の末尾を表します。 例)広告\$(文字列の末尾に広告を含む条件を検索)
. (period)	空白(SPACE)を含めた任意の一文字を表します。 例 広告("広*告、広-告、広告、広_告" のように文字の中間に一つの文字が含まれた 条件を検索)
[] (bracket)	 括弧で囲まれた文字のいずれかを表します。"-" で文字の範囲を指定することができます。 例 [広告] (広または告) [0-9] (任意の数字1文字) [a-z] (英字1文字) ※MailSuiteの正規表現では、半角英字の大文字と小文字は区別しませんので、この設定で 大文字・小文字の両方を表します。

	[^a-z0-9] (英字・数字以外の文字を検索) ※[]の中の冒頭こ ^ (caret)を書くと、指定した文字以外という意味になります。
{} (brace)	 () の直前の文字が指定された回数だけ繰り返されるパターンを表します。 例 a{3} ('a' が3回線り返された 'aaa'を検索) a{3,} ('a' が3回以上線り返されるパターンを検索) a{3,5} (aaa, aaaaa, aaaaa だけを検索) [0-9]{2} (2桁の数字を検索)
* (asterisk)	 "*"の直前の文字が0個以上続くパターンを表します。{0,}と同じです。 例 a*(何んないもの、a、aa、aaa、を表す) .*(直前の文字が '.' であるため、0文字以上の任意の並びを表す) 広.*告.*(「広」と「告」の間に任意の文字列を含むパターン、および間に何んない「広告」を表す)
+ (plus)	"+"の直前の文字が1個以上続くパターンを表します。{1,}と同じです。 例 a+ (a、aa、aaa、を表す) .+ (直前の文字が'.'であるため、1文字以上の任意の並びを表す) 広.+告(「広」と「告」の間に任意の文字列を含むパターンを表す)
? (question)	"?" の直前の文字があるか、またはないかのいずれかを表します。 {0,1} と同じです。 例 ab?c (abc、ac のいずれかを表す) .? (直前の文字が !' であるため、そこに何か文字があるか、あるいは何もないかを 表す) 広.?告 (広*告、広-告、広 告、広_告 のように「広」と「告」の間に 1 文字を含むいタ ーン、および間に何もない「広告」を表す)
() (parenthesis)	"()" は、正規表現内でパターンをグループ化するときに使用します。 例 女性(会員)?募集("女性会員募集" または "女性募集" を示す)
(pipe)	" "は、前後に記述した正規表現のどちらかに一致しさせたいときに使用します。 例) (男性 女性)会員 ("男性会員" または "女性会員" を示す)
<> (不等号)	弊社独自の書式で、単語の先頭、末尾を表します。 例 <aaa> ("aaa" という単語は該当するが、 "aaab" や "caaa" などには該当し ない)</aaa>
¥ (backslash, yen)	上記の特殊文字を普通の文字として使いたいときに、前に '¥' を置きます。 例 ¥[広告¥] (角括弧で囲まれた [広告] を表す) [¥[¥(¥{] ('[', '(', '{' の中のどれか〜つを表す) aaa¥? (aaa?を表す)

3. SPAM 遮断設定

3.1. 送信者

3.1.1. SPAM 遮断設定 >> 送信者

SPAM メール送信者の IPとDomain / Email を登録して SPAM メールを遮断する機能です。

3.1.2. 遮断フィルタルールの追加

遮断する IP、または Domain / Email を登録します。

3.1.2.1. 遮断 IP の追加

SPAM 遮断設定 >> 送信者 >> "IP 遮断"タブを選択して、拒否したい IP の情報を入力してから[追加]ボタンをクリックします。

○ SPAM遮断計	設定 >> 送信者				
IP這断 [)omain/Email				
🔽 遮断IP追加 🛛		▶ <u>1</u> 追 加 □		●検索内容 ▼	g
選択削除全体	期除 選択ON 選択OFF]			🕒 表示するリスト数 🕘 🔻
使用	接続遮断IP		記日月	登録日 ☜	修正 削除
in in in iteration in the second seco	10:20:30:*			2011/01/17	▶修正
in in in iteration in the second seco	50.60.70.80			2011/01/17	▶ 修正 ▶ 削除
On	100.200.100.200			2011/01/17	▶修正
		≪ < 1	> >>		Total: 3 🗄 移動 🛛 💿

3.1.2.2. 遮断 Domain / Email の追加

SPAM 遮断設定 >> 送信者 >> "Domain / Email"タブを選択して、拒否したいドメイン、メールアドレスの情報を入力してから[追加]ボタンをクリックします。

送信者のドメイン名で SPAM メールを遮断したい場合は、"*@ドメイン名"のように「@」マークの前に必ず「*」を入力して追加してください。

例えば、spam.co.jpから送られてくるメールを遮釈したい場合は、"*@spam.co.jp"のように設定してください。

O SPAM	遮断副	定 >> 送信者			
IP這断	Ī	omain/Email			
🔽 Doma	ain/Ema	间の追加	▶ 注血力D	●検索内容 ▼	g
選択削除	全体	削除 選択ON 選択OFF			🗎 表示するリスト数 😑 🔻 🔻
	使用	Domain/Email	記印	登録日 📾	修正 削除
	on	spamer@example.co.jp		2011/01/17	▶修正 ▶ 削除
	on	*@spam.co.jp		2011/01/17	▶修正 ▶ 削除
			« < 1 > »	Ð	- Total: 2 🗇 移動 🛛 😡

3.1.2.3. ワイルドカードの使用

IP、ドメイン、メールアドレスをフィルタルールとして使用する場合、次のようにワイルドカードを利用して登録することができます。 遮断設定及び例外処理のフィルタを設定する際に参考にしてください。

1. 不特定の文字列を使用する場合

sex*.com

sexworld.com, sexpia.comのように sex で始まり、.com で終わるすべてのドメインを設定することができます。

2. 不特定な一つの文字を使う場合

sex?.com

sex0.com ~ sex9.com と sexa.com ~ sex2.com, sexA.com ~ sexZ.com のように範囲をもつドメインを設定することができます。

3. 特定範囲を対象にして設定をしたい場合

123.456.78.[0-9]

123.456.78.0 ~ 123.456.78.9 までの IP を設定することができます。

sex.[a-z].com

sex.a.com \sim sex.z.com までのドメインを設定することができます。

3.1.3. 遮断フィルタの修正

リストから修正したいフィルタルールの[修正]ボタンをクリックすると、該当フィルタに対する登録情報を修正する ことができます。

また、遮断フィルタを一時的に使用しない場合、フィルタ使用の可否を"使用しない"に設定してください。 設定後、リストの該当フィルタの使用欄に[OFF]と表示されます。

リストから該当フィルタの使用欄の[ON]、[OFF]をクリックすることで、フィルタ使用の可否を変更することもできます。

★ 接続遮断の修正	
接続遮断IP	10.20.30.*
記印	
フィルタ使用の可否	● 使用 ◎ 使用しない

3.1.4. 遮断フィルタの削除

リストから削除するフィルタルールにチェックを入れた後、[選択削除]をクリックしてください。 各フィルタルールの右端の[削除]ボタンからも削除することができます。 [全体削除]は、登録されているすべてのフィルタルールを削除する機能です。

IP這断	i Do	omain/Email				
🛛 遮朗	fIPi追加		▶ <u>追加</u>		■検索内容 💌	Q
選択削除	全体	削除 選択ON 選択OFF				🗎 表示するリスト数 🕘
ĽΥ	使用	接続遮断IP		説明	登録日 🚥	修正 削除
	on	10.20.30.*			2011/01/17	▶ 修正 ▶ 削除
V	on	50.60.70.80			2011/01/17	▶修正 ▶ 削除
	on	100.200.100.200			2011/01/17	▶ 修正 ▶ 削除
			« <	1 > >	- <mark></mark> - To	tal:3 已移動

3.1.5. 遮断フィルタの検索

OSPAM遮断設定 >> 送信者

検索する項目を選択してからキーワードを入力した後、(SD)をクリックすると、検索キーワードが含まれるフィル タの検索結果が表示されます。検索結果後、(SD)をクリックするとリスト画面に戻ります。

3.2. メッセージ

3.2.1. SPAM 遮断設定 >> メッセージ

メール件名、本文、本文中に含まれている URL、メールヘッダの情報を検索し、特定の文字列が含まれている メールを SPAM として処理する機能です。

すべてのメッセージフィルタは、遮断のための検索する範囲が違うだけで、追加・修正・削除の方法は同一です。

3.2.2. 遮断フィルタルールの追加

メール件名、メール本文、本文 URL、メールヘッダの中で、フィルタの設定を行うタブを選択して登録します。 フィルタ種類で"一般式"を選択した場合は、フィルタ/条件の右側にあるプルダウンから条件("が含まれる"以 下)も選択してください。追加後でもリストから各フィルタルールの[修正]ボタンをクリックすると、フィルタ種類と フィルタ/条件を変えることができます。

3.2.2.1. メール件名

メールの件名に含まれているテキストを検索して、指定した特定の単語や文字が含まれている場合にそのメールを SPAM メ ールとして処理します。SPAM として遮断したいメールの件名によく使われる単語や文字を入力した後、[追加]ボタンをクリッ クしてください。

3.2.2.2. メール本文

メールの本文に含まれているテキストを検索して、指定した特定の単語や文字が含まれている場合にそのメールを SPAM メ

ールとして処理します。SPAM として遮断したいメールの本文によく使われる単語や文字を入力した後、[追加]ボタンをクリックしてください。

3.2.2.3. 本文 URL

メールの本文中に含まれている URL 情報を検索して、指定した特定の単語や文字が URL に含まれている場合にそのメール を SPAM メールとして処理します。

SPAM として遮釈したいメールの本文中に含まれている URL によく使われる単語や文字を入力した後、[追加]ボタンをクリックしてください。

例えば、pornoという単語を追加した場合、pornoという単語を含む URL 情報(http://example.porno.co.jp など)が本 文中に含まれているメールはすべて SPAM として処理します。

3.2.2.4. メールヘッダ

メールヘッダの情報を検索して、設定したフィルタルールと一致する場合にそのメールを SPAM メールとして処理します。 次のようにヘッダ項目をプルダウンメニューから選択し、その下の空欄に SPAM として遮断したいメールのメールヘッダに含 まれている情報を入力した後、[追加]ボタンをクリックしてください。プルダウンメニューから"直接入力"を選択した場合のみ、 右側の空欄にヘッダの種類を直接入力してください。

○ SPAM遮断設定 >> メッセージ

メール件名	メール本文	本文URL	メールヘッダ			
🗖 フィルタ種類	◎ 一般式 🔘	正規式			■検索	ð
🛛 フィルタ/条件	Cc Cc Comments Content-Type	•		▼ ▶ 注 加		
選択削除 全体	消消除 Date	nsfer-Encoding			₿ 表	示するリスト数 🖳 🔻
■ 使用	Delivered-To Errors-To)	쵩	件種類	登録日 🚥	修正 削除
	Send From	k	と一致	一般式	2011/01/17	▶修正 ▶ 削除
	Subje Message-id			正規式	2011/01/17	▶修正 ▶ 削除
	From Organization		が含まれ	る 一般式	2011/01/17	▶修正 ▶ 削除
	Priority Received Reply-To		« < 1 >	*	- Total: 3	●移動 60
	Return-Path Sender Subject To X-Mailer X-Priority X-Sender 直接入力					

3.2.3. 遮断フィルタの修正及び高度な設定

リストから修正したいフィルタルールの[修正]ボタンをクリックすると、該当フィルタに対する登録内容を修正する ことができるだけでなく、正規表現式を利用した高度な設定と例外処理に対する設定を行うことができます。

3.2.3.1. 修正及び設定

下記のような内容に対して修正及び設定ができます。 変更内容をすべて入力した後、[設定]ボタンをクリックして変更した内容を保存します。

★ メール件名のフィ 修正及び設定 ∲	ルタ修正 外処理			
修正				
フィルタ種類	◎ 一般式 ◎ 正規式			
フィルタ/条件	完全無料]	•	
フィルタ使用の設定	ON OFF	が含まれる が含まれない と一致しない で始まうない で始まうない で終わうない 空給わらない 空白でまない が存在しない	Li contra	
	設定	閉じる		

>> フィルタ種類

フィルタの追加後に一般式になっている設定方式を正規表現式に変更することができます。 正規表現式の使い方は、"2. 正規表現式とは?"を参考にしてください。

>> フィルタ条件

追加したフィルタの内容を修正することができます。 フィルタの内容に対する条件をプルダウンメニュー(が含まれる、と一致など)の中から指定して変更することができます。

>> フィルタ使用の設定

フィルタを一時的に使用しない場合、フィルタ使用の設定を"OFF"に変更してください。 変更後、リストの該当フィルタの使用欄こ[OFF]と表示されます。 リストから該当フィルタの使用欄の[ON]、[OFF]をクリックすることで、フィルタ使用の設定を変更することもできます。

3.2.3.2. 例外処理

設定した各フィルタルールに対して該当するメールがあった場合、SPAM として遮断せずにメールの受信を許可する機能です。次の事項を参考にして、例外処理ルールの追加止修正を行ってください。

★ メール件名のフィルタ修正		
修正及び設定 例外处理 7 例外处理		
- フィルタ区分 ◎ TEXT(メール件名) ○ 送	信者(IP/Domain/Email)	ot 21 •
選択削除 全体削除		🗎 表示するJJスト数 🚽 🔻
例外フィルタ 📾	条件	説明 種類 修正
例外	が含まれる	一般式 修正
xxx@example.co.jp		▶ 修正
	« < 1 > »	

閉じる

>> 設定例

例外処理の設定方式は、テキストと送信者情報(IP/Domain/Email)に区分されます。

例えば、メール件名で"無料"というフィルタが設定してある場合、例外処理のテキストに"例外"を、メールアドレスに "xxx@example.co.jp"のように設定します。

メール受信の際、件名に"無料"という文字が含まれているすべてのメールは遮釈しますが、その中で件名に"例外"という単語が含まれていたり、送信者のメールアドレスが"xxx@example.co.jp"の場合には、メールの受信が正しく行われます。

>> 追加

フィルタ区分から"TEXT"または"送信者(IP/Domain/Email)"を選択して、例外処理したい内容を入力した後に[追加] ボタンをクリックします。

>> 修正

例外処理のリストから修正したい例外フィルタの[修正]ボタンをクリックします。 フィルタ区分、フィルタ種類、フィルタ条件などの変更したい内容をすべて入力した後、[修正]ボタンをクリックします。

>> 削除

例外処理のリストから削除したい例外フィルタにチェックを入れた後、[選択削除]をクリックしてください。 [全体削除]は、登録されているすべての例外フィルタを削除する機能です。 また、例外処理をしているフィルタルール自体の削除を行った場合、同時に例外フィルタは削除されます。

3.2.4. 遮断フィルタの削除

リストから削除するフィルタルールにチェックを入れた後、[選択削除]をクリックしてください。 各フィルタルールの右端の[削除]ボタンからも削除することができます。 [全体削除]は、登録されているすべてのフィルタルールを削除する機能です。

3.2.5. 遮断フィルタの検索

検索するキーワードを入力した後、(SD)をクリックすると、検索キーワードが含まれるフィルタの検索結果が表示 されます。検索結果後、(SD)をクリックするとリスト画面に戻ります。

3.3. 添付ファイル

3.3.1. SPAM 遮断設定 >> 添付ファイル

メールに添付されているファイルの拡張子とファイル名を検索して、一致する条件がある場合にそのメールを SPAM として遮断する機能です。

3.3.2. 遮断フィルタルールの追加

3.3.2.1. 添付ファイル拡張子

遮釈したい添付ファイルの拡張子を入力します。

例えば、次のように exe と登録した場合、添付ファイルの拡張子が exe であるメールは SPAM として処理します。

○ SPAM遮断設定 >> 添付ファイル

添付ファイルの拡張子	添付ファイル名				
 □ フィルタ種類 ◎ 一般式 □ フィルタ/条件 	℃ ◎ 正規式		le te	検索	Q
		•			
選択削除 全体削除 選択(ON 選択OFF			🗎 表:	示するリスト数
使用	ファイル拡張子	条件	種類	登録日 🚥	修正 削除
exe		が含まれる	一般式	2011/01/17	▶修正 ▶ 削除
		« < 1 > »		😃 Total: 1	●移動

3.3.2.2. 添付ファイル名

添付されているファイル名をフィルタルールとして設定することができます。

次のように、SPAMとして処理したい添付ファイル名を入力した後、[追加]ボタンをクリックします。

フィルタ種類で"一般式"を選択した場合は、フィルタノ条件の右側にあるプルダウンから条件("が含まれる"以下)も選択してください。

○ SPAM遮断設定 >> 添付ファイル

添付ファイルの拡張子	添付ファイル名								
☑ フィルタ種類 🔹 ●	般式 🔘 正規式					■検索			9
フィルタ/条件 virus	;		•	▶追加					
選択削除 全体削除 就	選択OFF 選択OFF	が含まれる が含まれない と一致	6				🗎 表示す	トるリスト数	•
使用	ファイル名	と一致しない			種類	登録	8 📾	修正	削除
		で始まらない で始まらない で終わる で終わらない		±ん。					

3.3.3. 遮断フィルタの修正及び高度な設定

リストから修正したいフィルタルールの[修正]ボタンをクリックすると、該当フィルタに対する登録内容を修正する ことができるだけでなく、正規表現式を利用した高度な設定と例外処理に対する設定を行うことができます。

3.3.3.1. 修正及び設定

下記のような内容に対して修正及び設定ができます。

変更内容をすべて入力した後、【設定】ボタンをクリックして変更した内容を保存します。

🗙 ファイル拡張子の	フィルタ設定		/	
修正及び設定 例 図 修正	外処理			
フィルタ種類	◎ 一般式 💿 正規式			
フィルタ/条件	exe	が含まれる・		
フィルタ使用の設定	ON OFF	が含まれるい か含まれない と一致 と一致しない で始まろない で始まろない で終わろ で終わらない		
	設定	閉じる		

>> フィルタ種類

フィルタの追加後に一般式になっている設定方式を正規表現式に変更することができます。 正規表現式の使い方は、"2. 正規表現式とは?"を参考にしてください。

>> フィルタ条件

追加したフィルタの内容を修正することができます。 フィルタの内容に対する条件をプルダウンメニュー(が含まれる、と一致など)の中から指定して変更することができます。

>> フィルタ使用の設定

フィルタを一時的に使用しない場合、フィルタ使用の設定を"OFF"に変更してください。 変更後、リストの該当フィルタの使用欄に[OFF]と表示されます。 リストから該当フィルタの使用欄の[ON]、[OFF]をクリックすることで、フィルタ使用の設定を変更することもできます。

3.3.3.2. 例外処理

設定した各フィルタルールに対して該当するメールがあった場合、SPAM として遮断せずにメールの受信を許可する機能です。次の事項を参考にして、例外処理ルールの追加止修正を行ってください。

🗙 ファイル拡張子のフィルタ設定		
修正及び設定 例外処理 フ 例外処理 フ イルタ取分 @ TFXT ◎ 送信素(IP/Dan	nain/Fmail)	[» 38m]
	2 /4	
1997、フィルジ xxx@example.co.jp 例外	余!F が含まれる	武で月 ☎
	« < 1 > »	- Total:2 🗇 移動 🌗 移動

閉じる

>> 設定例

例外処理の設定方式は、テキストと送信者情報(IP/Domain/Email)に区分されます。

例えば、添付ファイル名で"virus"というフィルタが設定してある場合、例外処理のテキストに"例外"を、メールアドレスに "xxx@example.co.jp"のように設定します。

メール受信の際、添付ファイル名に"virus"という文字が含まれているすべてのメールは遮靴しますが、その中で添付ファイル名に"例外"という単語が含まれていたり、送信者のメールアドレスが"xxx@example.co.jp"の場合には、メールの受信が正しく行われます。

>> 追加

フィルタ区分から"TEXT"または"送信者(IP/Domain/Email)"を選択して、例外処理したい内容を入力した後に[追加] ボタンをクリックします。

>> 修正

例外処理のリストから修正したい例外フィルタの[修正]ボタンをクリックします。 フィルタ区分、フィルタ種類、フィルタ条件などの変更したい内容をすべて入力した後、[修正]ボタンをクリックします。

>> 削除

例外処理のリストから削除したい例外フィルタにチェックを入れた後、[選択削除]をクリックしてください。 [全体削除]は、登録されているすべての例外フィルタを削除する機能です。 また、例外処理をしているフィルタルール自体の削除を行った場合、同時に例外フィルタは削除されます。

3.3.4. 遮断フィルタの削除

リストから削除するフィルタルールにチェックを入れた後、[選択削除]をクリックしてください。 各フィルタルールの右端の[削除]ボタンからも削除することができます。 [全体削除]は、登録されているすべてのフィルタルールを削除する機能です。

3.3.5. 遮断フィルタの検索

検索するキーワードを入力した後、(SD)をクリックすると、検索キーワードが含まれるフィルタの検索結果が表示 されます。検索結果後、(SD)をクリックするとリスト画面に戻ります。

4. 例外処理設定

4.1. 送信者

4.1.1. 例外処理設定 >> 送信者

送信者のIPとDomain/Email 情報が設定した条件と一致する場合、SPAM 遮断設定と関係なく、そのメールの受信を許可する機能です。

4.1.2. SPAM 拒否設定の例外処理との違い

SPAM 遮断設定の各フィルタルールで行った例外処理は、該当フィルタルールだけに対して受信を許可しま すが、例外処理設定の場合は、SPAM 遮断設定のすべてのフィルタルールに優先して適用される White List の概念です。

つまり、SPAM 遮断設定の各フィルタルールに対する処理を行わずに、メールを受信したい場合に条件を追加 してください。

4.1.3. 例外処理の追加

SPAM 遮断設定の各フィルタルールの処理をせずにメールの受信を許可する IP、または Domain / Email を登録します。

4.1.3.1. 例外処理 P の追加

例外処理設定 >> 送信者 >> "IP 例外"タブを選択して、メールの受信を許可したい IP の情報を入力してから[追加]ボタン をクリックします。

○ 例外処	理設定	>> 送信者						
IP例外	Da	main/Email						
🛛 例外]	P追加		▶ 追加		└検索	内容 🔻		Q
選択削除 全体削除 選択OFF					數 - ▼			
	使用	例外処理IP		 見日月		登録日 🚥	修正	削除
	on	10.20.30.*				2011/01/17	▶修正	▶削除
	on	100.200.100.200				2011/01/17	▶修正	▶削除
				« < 1 > »		.9-	Total:2 🕘移動	GO

4.1.3.2. 例外処理 Domain / Email の追加

例外処理設定 >> 送信者 >> "Domain / Email"タブを選択して、メールの受信を許可したいドメイン、メールアドレスの

情報を入力してから[追加]ボタンをクリックします。

送信者のドメイン名でメールの受信を許可したい場合は、"*@ドメイン名"のように「@」マークの前に必ず「*」を入力して追加してください。

例えば、example.co.jpから送られてくるメールを受信したい場合は、"*@example.co.jp"のように設定してください。

○ 例外処理設定	>> 送信者			
IP例外 Dom	ain/Email			
🔽 Domain/Emaij追		▶ 追加	●検索内容 ▼	g
選択 削除 全体 削	涂 選択ON 選択OFF			🕒 表示するリスト数 🕘 🔻
● 使用	Domain/Email	記明	登録日 📾	修正 削除
in in	user01@example.ac.jp		2011/01/17	▶ 修正 ▶ 削除
in in	*@example.co.jp		2011/01/17	▶修正 ▶ 削除
		« < 1 > »		Total: 2 🗇 移動 🗾 💿

4.1.3.3. ワイルドカードの使用

IP、ドメイン、メールアドレスを例外処理のフィルタルールとして使用する場合、次のようにワイルドカードを利用して登録する ことができます。遮断設定及び例外処理のフィルタを設定する際に参考にしてください。

1. 不特定の文字列を使用する場合

sex*.com

sexworld.com, sexpia.comのように sex で始まり、.com で終わるすべてのドメインを設定することができます。

```
2. 不特定な一つの文字を使う場合
```

sex?.com

sex0.com ~ sex9.com と sexa.com ~ sexz.com, sexA.com ~ sexZ.com のように範囲をもつドメインを設定することができます。

3. 特定範囲を対象にして設定をしたい場合

123.456.78.[0-9]

123.456.78.0 ~ 123.456.78.9 までの IP を設定することができます。

sex.[a-z].com

sex.a.com ~ sex.z.com までのドメインを設定することができます。

4.1.4. 例外処理の修正

リストから修正したいフィルタルールの[修正]ボタンをクリックすると、該当フィルタに対する登録情報を修正する ことができます。また、例外処理のフィルタを一時的に使用しない場合、フィルタ使用の可否を"使用しない"に 設定してください。設定後、リストの該当フィルタの使用欄に[OFF]と表示されます。 リストから該当フィルタの使用欄の[ON]、[OFF]をクリックすることで、フィルタ使用の可否を変更することもでき

ます。

-			
7.4	614.0	しŦ単のい	EX TE
	1717 F.A		LIN COL

例外処理IP	10.20.30.*	
記印月		
フィルタ使用の可否	● 使用 ○ 使用しな	ເາ

修正	取消	閉じる	
----	----	-----	--

4.1.5. 例外処理の削除

リストから削除するフィルタルールにチェックを入れた後、[選択削除]をクリックしてください。 各フィルタルールの右端の[削除]ボタンからも削除することができます。 [全体削除]は、登録されているすべてのフィルタルールを削除する機能です。

○ 例外処理設定 >> 送信者

IP1915가 Domain	n/Email					
🔽 Domain/Emaij追加 [▶ <u>1</u> 追加		■検索 内容 💌		9
選択削除 全体削除	選択ON 選択OFF				🗎 表示するリスト	- 数 🔽
	Domain/Email		記明	登録日 ◙	修正	削除
🔲 🛄 us	er01@example.ac.jp			2011/01/17	▶修正	▶削除
V 00 *0	≬example.co.jp			2011/01/17	▶修正	▶削除
		« < 1	> >		otal:2 ⊡移動	60

4.1.6. 例外処理の検索

検索する項目を選択してからキーワードを入力した後、(SD)をクリックすると、検索キーワードが含まれるフィル タの検索結果が表示されます。検索結果後、(SD)をクリックするとリスト画面に戻ります。

4.2. メッセージ

4.2.1. 例外処理設定 >> メッセージ

メールの件名、本文、ヘッダ情報を検索して、登録した内容が含まれている場合、SPAM 遮断設定と関係なく、 そのメールの受信を許可する機能です。

例えば、例外処理設定のメール件名に、"例外処理"という単語を登録すると、メール件名に"例外処理"が含まれているメールはすべて受信します。

4.2.2. SPAM 拒否設定の例外処理との違い

SPAM 遮断設定の各フィルタルールで行った例外処理は、該当フィルタルールだけに対して受信を許可しま すが、例外処理設定の場合は、SPAM 遮断設定のすべてのフィルタルールに優先して適用される White List の概念です。

例えば、SPAM 遮断設定 >> メッセージ >> メール件名に"広告"と"無料"というフィルタルールを設定し、 リストの"広告"のフィルタに対して[修正]ボタン >> 例外処理タブで"許可"という単語を例外処理として登録 します。そして、例外処理設定 >> メッセージ >> メール件名に"例外処理"という単語を登録した場合、 次のように処理されます。

メール件名	メールの受信可否
広告許可メールです。	受信
無料許可メールです。	受信しない
例外処理の無料メールです。	受信
(広告)例外処理の新製品案内	受信
(広告)新製品案内	受信しない

4.2.3. 例外処理の追加

メール件名、メール本文、メールヘッダの中で例外処理設定するタブを選択して、例外処理追加欄に受信を許可する内容を入力した後、[追加]ボタンをクリックします。

● 例外処理の設定 >> メッセージフィルタ		
メール件名 メール本文 メールヘッダ		
☑ メール件名の例外処理追加	▶ <u>18</u> hD	·検索
選択削除 全体削除 選択ON 選択OFF		🗎 表示するリスト数 🕘 🔻
使用 内容	説明	登録日 🚥 修正 削除
Image: Minimage (Minimage) (M		2011/01/17
	« < 1 > »	- Total:1 _ ●移動

メールヘッダの例外処理設定は、例外処理追加欄のプルダウンメニューからヘッダ項目を選択し、その下の空欄に受信を許可する内容を入力してください。プルダウンメニューから"直接入力"を選択した場合のみ、右側の空欄にヘッダの種類を直接入力してください。

○ 例外処理の設定 >> メッセージフィルタ

メール件名	メール本文	メールヘッダ				
☑ メールヘッ:	ダの例外処理追加	直接入力 example	▼ X-xxx.xxx	▶ <u>ì</u> <u>Ê</u> 九0	■検索	<u>Q</u>
選択削除 全1	体削除 選択ON	選択OFF			Đ	表示するリスト数 - 🔻
📄 使用		内容		記印	登録日 🚥	修正 削除
in in	From : user01@e	xample.cojp			2011/01/17	▶修正 ▶削除
			« < 1 > »		🕂 Total:	1 🗇 移動 🔤 😡

設定後、届いたメールに例外処理設定で登録した内容が含まれる場合には、SPAM 遮断設定として登録した フィルタルールの処理を行わずに受信します。

4.2.4. 例外処理の修正

リストから修正したいフィルタルールの[修正]ボタンをクリックすると、該当フィルタに対する登録情報を修正する ことができます。設定後、リストの該当フィルタの使用欄に[OFF]と表示されます。

リストから該当フィルタの使用欄の[ON]、[OFF]をクリックすることで、フィルタ使用の可否を変更することもできます。

* 例外処理の設定 >> メッセージフィルタ 🛛 🗤 🗤 🗤 🗤 🗤 🗤 🗤 🗤 🗤 🗤 🗤 🗤 🗤	
内容	例外処理
ii 兑印月	
フィルタ使用の可否	 使用 (使用Lない)

|--|

4.2.5. 例外処理の削除

リストから削除するフィルタルールにチェックを入れた後、[選択削除]をクリックしてください。 各フィルタルールの右端の[削除]ボタンからも削除することができます。 [全体削除]は、登録されているすべてのフィルタルールを削除する機能です。

4.2.6. 例外処理の検索

検索するキーワードを入力した後、(SD)をクリックすると、検索キーワードが含まれるフィルタの検索結果が表示 されます。検索結果後、(SD)をクリックするとリスト画面に戻ります。

5. 環境設定

5.1. 管理者が設定したメッセージフィルタ使用の選択

管理者が設定したメッセージ(キーワード)フィルタを使用するかしないか選択してください。 管理者がキーワードを登録できるフィルタの種類は、件名、本文、本文に含まれる URL、ヘッダ、添付ファイル名、添付ファイル の拡張子になります。「使用する」を選択した場合、届いたメールが管理者が登録したキーワードとフィルタの種類に一致すると、 SPAMフォルダに保存されるか、件名またはヘッダに SPAM マークが付いてメールが配送されます。

○ 管理者が設定したメッセージフィルタ使用の選択

 ● 使用する ● 使用しない 	「使用する」お選択した場合、管理者が設定したキーワードがメールに含まれている場合にSPAMメールとして処理されます。

ここで「使用しない」を選択した場合でも、サーバ側で設定されている他のフィルタによって SPAM 判定されることや、接続を拒否 したメールは届かないこともあります。「使用する」」「使用しない」を選択後、「保存」ボタンをクリックしてください。

5.2. SPAM メール自動判定フィルタ使用の選択

サーバに設置された SPAM メール自動判定フィルタを使用するかしないか選択してください。

SPAMメール自動削定フィルタは、全世界からのレポーターから収集した情報を基こ生成したデータベースにメールを照会して、 SPAMメールかどうかを判定します。ヘッダ情報、本文データ、添付ファイルデータなどのメールから読み取れるデータを細分 化して独自技術でデータベースに照会し、細分化されたデータをスコア方式で判定するので検知率が高いだけでなく誤検知ら 少ないという特性を持っています。また、データベースの更新が頻繁に行われるため、新種のSPAMメールに対しても非常に有 効です。「使用する」を選択した場合、届いたメールがSPAMメール自動削定フィルタによって SPAM 判定されると、SPAMフォ ルダに保存されるか、件名またはヘッダに SPAM マークが付いてメールが配送されます。

◎ SPAMメール自動判定フィルタ使用の選択

 ● 使用する ○ 使用しない 	「使用する」 お選択した場合、SPAM自動 判定フィルタニよりSPAMメールかどうか 判定されて処理されます。
---	---

ここで「使用しない」を選択した場合でも、サーバ側で設定されている他のフィルタによって SPAM 判定されることや、接続を拒否 したメールは届かないこともあります。「使用する」/「使用しない」を選択後、「保存」ボタンをクリックしてください。

以上